

令和2年度 平塚市市民活動推進補助金

プレゼンテーション

入門コース・発展コース

- ◆ 会 場 平塚市役所本館3階 303会議室
- ◆ 開催日 令和2年3月14日（土）

目 次

- スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
- 申請団体一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
- 入門コース 助成申請書（2団体）・・・・・・・・P3～10
- 発展コース 助成申請書（6団体）・・・・・・・・P11～34
- 審査委員紹介・寄附紹介・・・・・・・・・・・・P35

プレゼンテーションスケジュール

- 開催日：令和2年3月14日（土） ● 会場：平塚市役所本館3階 303会議室

時間	内 容
13:30	プレゼンテーション開会
13:35	<p>プレゼンテーション</p> <p>・申請団体による発表は5分以内、審査委員との質疑は3分以内（質問に関する回答は1分以内程度）とします。</p> <p>〔入門コース 発表〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 13:35～ ひばり野のなかま達 ② 13:50～ ママぎゅっと <p>〔発展コース 発表〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 14:05～ 安心・安全を考える会 ② 14:20～ NPO法人 暮らし・つながる森里川海 ③ 14:35～ 子ども学習支援グループ 須賀の寺子屋 ④ 14:50～ シーバード ⑤ 15:05～ 八幡郷土史編纂委員会 ⑥ 15:20～ 湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会
15:35	閉会

申請団体一覧

● 入門コース(2団体)

	団体名	申請活動・事業名	申請額	ページ
1	ひばり野のなかま達	こどもへの学習支援・遊び場（居場所）介護予防、講演	8万	3
2	ママぎゅっと	デリケートなテーマを学ぶ「ママスク」	10万	7
		合 計	18万	

● 発展コース(6団体)

	団体名	申請活動・事業名	申請額	ページ
1	安心・安全を考える会	レッツ防災119&レッツ防犯110	30万	11
2	NPO法人 暮らし・つながる森里川海	馬入水辺の楽校の利活用促進事業	50万	15
3	子ども学習支援グループ 須賀の寺子屋	子どものための学習支援教室	28万	19
4	シーバード	湘南ひらつかジュニア・ビーチサッカーフェスタ	50万	23
5	八幡郷土史編纂委員会	八幡郷土史集大成本の完成	37万	27
6	湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会	吉沢八景活用事業～トンボの里づくり～	50万	31
		合 計	245万	

受付番号	入門コース1
受付月日	令和2年2月12日

令和2年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書 (入門・発展コース)

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) ヒバリ / アカマツキ ひばり野のぼのま達			
② 所在地	平塚市南豊田			
③ 代表者名	大畑 正子			
④ 設立年月	平成31年 4 月 / (法人格取得年月 年 月)			
⑤ ホームページ	http://			
⑥ 設立目的・経緯	<p>子ども高齢者を取り巻く環境は、時代の急変と共に変化が著しい。両親の就労、世帯構成の減少、熟慮せず登校、ひばり、高齢化に伴う孤独死など懸念している。地域社会で一人一人の個性を尊重し、お互いに助け合い、寄り添い、理解のある環境をいかに強く感じる。安心・安全な場所を居場所の有り、高齢者も含めた異世代(多世代)間との交流の場が必ず必要だと、設立した。</p>			
⑦ 活動の概要・実績	<p>多世代支援・遊い場：令和1年9月から伊原公民館に於き、毎月2、4金曜日(15:00～18:00)に、多世代支援の遊い場を開催。この遊い場の居場所作り(2020.10.10)に、教員、看護士、介護福祉士、保育士、福祉関係、経験者等の有資格者、比較的高齢者がボランティア活動により、介護予防も手助けしている。</p> <p>歌学講座：令和1年6月より、飯島のアールパーク湘南支店、花柳の玄街・庭を借り歌学講座を開催。15:00～18:00に、入居者の方に歌子の歌謡の作り出し、歌の作り出し、交流(2020.10.10)に、この遊い場、施設も車椅子に、興味と関心は、インターネットを通じて交流ができています。</p>			
⑧ 過去に受けた助成等の実績	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
⑨ 年度に受ける予定の助成等	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容

⑩ 会員数	個人 = 17 人 (うち平塚市民 14 人) 団体 = 3 団体		
⑪ 活動体制	役職名	氏名	住所
	① 代表者	大畑 正子	平塚市南豊田
	② 代理者	高橋 亜衣子	平塚市北水台
	③	江藤 和子	秦野市下大槻
	④	竹永 裕子	平塚市御殿
	⑤	東 和子	平塚市入野
	⑥	西沢 スミ子	平塚市御殿
	⑦	近藤 春子	平塚市御殿
	⑧	原 理代	平塚市御殿
	⑨	高木 洋一	平塚市四宮
	⑩	佐々木 宣子	平塚市中原

2 補助申請の内容

① 事業名	こどもへの学習支援・遊び場(居場所)の確保・防犯・講演
② 申請コース	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ 発展コース
③ 申請額	【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限有(1回目 90%、2回目 80%、3回目 70%)】 8 万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的	<p>この世で高齢者と取り巻く環境は、障がい者や高齢者の生活やケアに必要とされる課題のハードアップが急務である。</p> <p>そこで学習支援・遊び場では、就労(21歳以上)の職人が中心となって取り組む場を作り、異世代と交流の場をつくり、互いの価値を認め、お互いに学びあう。</p> <p>取組の場では、高齢者の生活と関わることに伴い、施設を知り、子育ての経験や認知症高齢者と交流することにより、懐かしさを感じたり思いやりや経験を伝えることにより、理解の幅を広げたり心を開いたりすることができる。</p> <p>講演では、取組の場により、看護・介護・食生活、そのほかのニーズに合わせた暮らしの課題や不安に寄り添う。</p>
---------	---

<p>② 事業の内容</p> <p>①の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>子ども放課後の交流の場を公民館と、(大々)住エースと専ら(ほか、子どもには学習支援遊び場、高令者には介護予防にっはり、</p> <p>2. 駒栗子屋:比較的商店の少ない飯島での開店。子ども姿を見せると購入のしやすさの秘密め、ポイントカードと貼る認知症高令者との様子はせり取りがある。入居者も自分の金で駒栗子屋を購入する喜びがある。ゲームは誰でも一緒に遊べる。遊びは遊び施設も準備。認知症高令者に関心をもち、福祉センターの作成にもつらがる。</p> <p>3. セミナー(講演会)開催の課題 子ども高令者も健康である事の意味やそのメリットを、セミナーの場を考へる。</p>
<p>③ 事業の計画</p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<p>1. 学習支援 遊び場:中余り学校の子どもと中余り公民館にて活動。毎月24金曜日、放課後の家の鐘起。子ども、小中学校4年生以上の女子の多く、高令者男子の参加がある様状(2週間、ニースに、お長期休暇中の両佳時や方法、回数と検討(2週間)</p> <p>2. 駒栗子屋:飯島地区、グループの湘南支店に、毎月24金曜日、放課後の家の鐘起。子ども高令者や取組の注目に、熱心に関心をもち、お場の作り</p> <p>3. 上記1.2から見ると「会」健康維持の場には子ども高令者に対し、産理事務による「会」(セミナー)「会」(その人知)等の講演会も検討(2週間)</p>
<p>④ 期待される効果</p> <p>活動・事業実施により、対象(受益者や地域)にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>子ども高令者も、多世代間の交流が持ち、互いに理解し合ひ自分一人の為にできること、(2も3は)子どもへの感謝など、人に対する思いやりや力になること、福祉のバリエーションと関り、高令者の介護予防にもつらがる。</p> <p>子ども抱えているお母さんなど、垣根見える事もあり、居場所を自分一人ではおこなう事、お友だちも気づく事と人々の為に出来る事、自分の価値と見いだせる事など、子ども高令者の主眼点にっはり、いっしょに考へる。</p>
<p>⑤ 協力団体等</p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<p>ひまわりサロン 創英大学ALCクラブ (福) 仲生会 (原) 株式会社(グループの湘南支店にっはり)</p>

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

事務局記入欄

発展コース補助割合確認

項 目		金額	具体的な内容（積算根拠等）	
①	補助金	89,000 円	平塚市市民活動推進補助金	
	寄付金	87,850 円	活動費 有から寄付金 27,850 円 諸禮金 部礼 30,000 円	
	事業収益	73,000 円	公民館利用バザール売上 58,000 円	
	収入合計	210,850 円	発展コース：対象経費	円 × % = 補助金の申請限度額 円
②	項 目	事業費	うち対象経費	うち補助金
	印刷費	35,850 円	35,850 円	30,000 円
	物品購入費	65,000 円	65,000 円	45,000 円
	会費	104,330 円	0 円	0 円
	通信運搬費	5,670 円	5,670 円	5,000 円
	支出合計	210,850 円	106,520 円	80,000 円

具体的な内容（積算根拠等）

印刷費 ① 10 × 3,000円 = 30,000円 ② 7-① 4.5 × 50 = 2,250円
 ③ 10 × 4.5 × 15 × 6回 = 3,600円
 ④ 10 × 2.22 × 100円 = 2,220円 ⑤ 10 × 100円 ⑥ 10 × 100円 ⑦ 10 × 100円 ⑧ 10 × 100円 ⑨ 10 × 100円 ⑩ 10 × 100円
 ⑪ 10 × 100円 ⑫ 10 × 100円 ⑬ 10 × 100円 ⑭ 10 × 100円 ⑮ 10 × 100円 ⑯ 10 × 100円 ⑰ 10 × 100円 ⑱ 10 × 100円 ⑲ 10 × 100円 ⑳ 10 × 100円
 ⑳ 10 × 100円 ㉑ 10 × 100円 ㉒ 10 × 100円 ㉓ 10 × 100円 ㉔ 10 × 100円 ㉕ 10 × 100円 ㉖ 10 × 100円 ㉗ 10 × 100円 ㉘ 10 × 100円 ㉙ 10 × 100円 ㉚ 10 × 100円
 ㉛ 10 × 100円 ㉜ 10 × 100円 ㉝ 10 × 100円 ㉞ 10 × 100円 ㉟ 10 × 100円 ㊱ 10 × 100円 ㊲ 10 × 100円 ㊳ 10 × 100円 ㊴ 10 × 100円 ㊵ 10 × 100円
 ㊶ 10 × 100円 ㊷ 10 × 100円 ㊸ 10 × 100円 ㊹ 10 × 100円 ㊺ 10 × 100円 ㊻ 10 × 100円 ㊼ 10 × 100円 ㊽ 10 × 100円 ㊾ 10 × 100円 ㊿ 10 × 100円

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。
 ※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

受付番号	入門コース2
受付月日	令和2年2月12日

令和2年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（入門・発展コース）

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) ママギユット			
	ママぎゅっと			
② 所在地	平塚浅間町			
③ 代表者名	宇佐美陽子			
④ 設立年月	2018年9月 (法人格取得年月 年 月)			
⑤ ホームページ	https://mamagyuuutto.wixsite.com/mama			
⑥ 設立目的・経緯	<p>平塚市民団体「ママぎゅっと」は平塚のママ達によるママ達のための、新しい「出会い」と「つながり」をサポートし、共助により自分らしく輝ける地域の未来を作ることを目的とした団体。子育てママの交流の場作り、地域の人材発掘と魅力発信、女性の自立、防災、女性特有のデリケートなテーマの勉強会などを目的にコミュニケーション講師、お弁当詰めインスタグラマー、アロマセラピスト、ライターなど地元のママ講師を中心に2018年9月発足。</p>			
⑦ 活動の概要・実績	<p>ママぎゅっと主催のママイベント合計4回、総動員数350名程度 (内容平塚、平塚市近隣在住起業ママによるブース出店形式のフェス) 企業コラボイベント合計4回総動員数300名程度 (学ぶ！未来の遊園地チームラボ内共同企画ヘアファッションショーライブ、グローバルワーク店内イベント共同企画/しんぶんアソビ、タッセルツリー作り/神奈川新聞社、W*bworks 協力、たかすけ自動車1周年記念イベント内容企画コーディネート)</p>			
⑧ 過去に受けた助成等の実績	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
⑨ 年度に受ける予定の助成等	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容

⑩ 会員数	個人 = 5 人 (うち平塚市民 5 人) 団体 = 団体		
⑪ 活動体制 活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。	役職名	氏名	住所
	① 代表	宇佐美陽子	平塚市浅間町
	② 副代表	長谷川あい子	平塚市平塚
	③ 副代表	長谷川めぐみ	平塚市見附町
	④ 会計	浦田典子	平塚市花水台
	⑤	弘中早苗	平塚市四ノ宮
	⑥		
	⑦		
	⑧		
	⑨		
⑩			

2 補助申請の内容

① 事業名	デリケートなテーマを学ぶ「ママスク」
② 申請コース	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。) <input checked="" type="radio"/> 入門コース ・ <input type="radio"/> 発展コース
③ 申請額	【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限有(1回目90%、2回目80%、3回目70%)】 10 万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的 「なぜ、この事業を実施したいのか？」 「どんな課題を改善したいのか？」 「社会や市民のために、どのような公益性があるのか？」 などを、社会的背景を含めて具体的に記入してください。	<p>1 平塚市内の子育てのママの悩みを共有し、専門家に相談できる場作りの構築 ママぎゅっとの団体の活動を通じて多くのママから悩み相談を聞いてきた結果、ママ自身の悩みを気軽にシェア出来る相手がいないことに気づく。悩みの多様化によってデリケートな話題は余計に話しづらい状況があるため、子育ての悩みやママ自身の悩みを気軽にシェアできる場の必要性を感じているため。</p> <p>2 平塚市内のママと子供の出会いの場作り 悩みを相談する機会が少ないのは、地域の関係性の希薄化や時代の移り変わりのスピードの速さによる母親の情報格差が背景にある。出会う場に自ら行ける親とそうでない親の落差も激しい。そんな中、悩みをきっかけに出会い直し、関係性を深め、繋がり信頼し合うことでママたちに活力が生まれる。</p> <p>3 ママたちの力を地域資源として活かす仕組みづくり ママの悩みが解消されていけば、親子関係はよりよくなり、ママ同士の仲間作りの交流が広がれば孤独も解消されチャレンジ精神も育まれる。地域のママの力を活かすまちづくりにつなげることができる。</p> <p>4 平塚定住促進のための平塚ママの魅力を生かすための市内外の子育て世帯へ PR 上記3つの目的を達成するための場作りについてのプロセスや様相をSNSを通じて発信する。</p>
---	---

<p>② 事業の内容</p> <p>①の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>1 平塚市内のママ、子供達双方の出会いの場作りのため、デリケートな話題をシェアしながら学ぶママのためのスクール、「ママスク」を全3回開催。生理の話、性教育、女性の心と体の健康について専門家から学びながら、参加者同士のデリケートな悩みをシェア出来るように、アイスブレイクに新聞返し読みなどを入れる。</p> <p>地元で活動する看護師、助産師やお金の専門家、コミュニケーションの専門家などを講師としてお招きする際、平塚在住で、平塚にゆかりのある講師を呼び、地域の資源を活用する。</p> <p>また、繋がりが作りに力を入れ、スクール終了後も気軽に意見交換しあえる場を晩ご飯会やママぎゅっとフェスといったイベントを周知していく。</p> <p>上記のように定期的に繋がれる場、相談できる場があると言う安心感がママたちを次のチャレンジへと向かわせてくれる。</p> <p>新たに何かチャレンジしたいママにはママぎゅっとフェスの受付、SNSの記事のライターなども積極的にお願ひし、地域を盛り上げる活動をするメンバーが増えていく仕組みを作る。</p> <p>ママたちの活躍の場がいつでも提供できるようママぎゅっととして SNS はホームページ、Facebook ページ、インスタグラムを整備していく。</p>
<p>③ 事業の計画</p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<p>2020年3月～SNSを活用したママスク告知スタート、定期発信</p> <p>2020年3月～シェアディナー(地域の晩ご飯回)での告知 その他適宜ライブ動画などで告知</p> <p>2020年4月25日(土)ママぎゅっとスプリングフェスにてママスク告知</p> <p>2020年5月初旬 ママスク告知チラシを市内幼稚園、保育園、小学校へ配布、掲示</p> <p>2020年5月 ママスク第1回「生理のお話会」(仮)</p> <p>2020年8月 ママスク第2回「ママのデリケートゾーンケア」(仮)</p> <p>2020年11月 ママスク第3回「ママの経済的自立」(仮)</p> <p>参加対象はママ&キッズ</p> <p>各回10~15名程度の参加者を募る 開催時間は2時間程度</p> <p>各回の内容は専門家による勉強会&体験シェア回&交流会を開催。</p> <p>開催場所は助産院 lunaLuna、アソビエカフェ、ぶどう畑の散歩道、ららぽーと湘南平塚 SHONAN TREE HOUSE、市民活動支援センター他</p>
<p>④ 期待される効果</p> <p>活動・事業実施により、対象(受益者や地域)にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>デリケートな話題をシェアし、専門家から具体的なアドバイスや解決方法を得て、さらに自分の悩みを曝け出しシェアできたと言う経験は、子育てが初めての人にとっても有意義で安心感溢れる時間になると感じる。</p> <p>ママの安心感とネットワークが広がることで、子供も、家族以外の大人と出会う機会が増え、コミュニケーションの機会が増える。また、ママスクを開催することで、ママ同士の繋がりが活力が、ママたちの働く意欲へと繋がりが、平塚市のママという資源がより活用される状況を作れると考えている。平塚市内で活躍するママ同士を繋げ、平塚市の人材活用の一助になる。</p>
<p>⑤ 協力団体等</p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<p>KICHIKICHI/助産院 LunaLuna/女性のためのサロン Trim/ぶどう畑の散歩道/アソビエ/ライフプランナー/平塚市健康課/NPO 法人湘南 NPO サポートセンター/その他平塚市内外の体験談を語ってくれるママ等</p>

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

事務局記入欄 発展コース補助割合確認 □

項目		金額	具体的な内容（積算根拠等）		
①	補助金	100,000 円	平塚市市民活動推進補助金		
	参加費	3,000 円	参加費 1 回 100 円 × 10 名 × 3 回		
		円			
		円			
	収入合計	103,000 円	発展コース：対象経費	円 ×	% =
				円	補助金の申請限度額
				円	円
②	項目	事業費	うち対象経費	うち補助金	具体的な内容（積算根拠等）
	講師謝金	60,000 円	60,000 円	60,000 円	講師謝金（5 月、8 月、11 月、各 20,000 円）
	チラシ作成費	30,000 円	30,000 円	30,000 円	チラシ製作費（デザイン 10,000 円 × 2 = 20,000 円） 印刷費（2,000 枚 / 5,000 円 × 2 = 10,000 円）
	会場費	5,000 円	5,000 円	5,000 円	Kichikichi もしくはアソビエもしくははぶどう畑の散歩道 2.5h × 1,000/h = 2,500 円 × 2
	雑費	5,000 円	5,000 円	5,000 円	コピー用紙
	茶菓子費	3,000 円	0 円	0 円	交流促進のための茶菓子購入費
		円	円	円	
		円	円	円	
	支出合計	103,000 円	100,000 円	100,000 円	※備品や器具を購入する場合は、それが事業に必要な理由を記載してください。また、飲食代など助成の対象とならない経費を支出する場合は、「参加費から支出」など収入項目を記載してください。

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。
 ※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

⑩ 会員数	個人 = 15 人 (うち平塚市民 13 人) 団体 = 団体		
⑪ 活動体制	役職名	氏名	住所
	① 会長	芦川 浩	平塚市八重咲町
	② 副会長	山内 幸江	藤沢市辻堂元町
	③ 副会長	石井 三枝子	平塚市桃浜町
	④ 会計	玉橋 隆子	横浜市青葉区藤が丘
	⑤	本田 喜代子	平塚市花水台
	⑥	酒井 その枝	平塚市董平
	⑦	木村 幸子	平塚市董平
	⑧	石黒 通子	平塚市袖ヶ浜
	⑨	深沢 茂子	平塚市黒部丘
⑩	野崎 審也	平塚市董平	

活動に携わるメンバーを記入してください。10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。

2 補助申請の内容

① 事業名	レッツ防災119 & レッツ防犯110
② 申請コース	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ 発展コース
③ 申請額	【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限有(1回目90%、2回目80%、3回目70%)】 30万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的	<p>今まで、子どもや市民に対して、防火意識を高め、消防活動に対する理解と協力を促進させるため、レッツ防災119を推進してきました。これは、CDを作成し、音声と踊りの発信力による市民参加の運動です。この運動を通じて安心・安全の意識も高まってきました。</p> <p>さらに市民の安心・安全を考えるうえで、防火意識とともに防犯意識も高める必要があります。そこで、新たに警察との連携でレッツ防犯110を展開します。多くの人が集まるイベントに参加して、音声と踊りにより、火災やオレオレ詐欺の防止などを訴える活動を目的にしています。</p> <p>1枚のCDの中に防災と防犯が入っているので相乗効果が期待できます。このような市民活動により、消防や警察に対する理解を深め、地域や家族、市民が安心・安全に暮らせるまちづくりを目指します。</p>
---------	--

<p>② 事業の内容</p> <p>①の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>★1枚のCDで防火と防犯を組み入れたものを作成。チラシも作ります。CDのことばと踊りによる発信力により、防火と防犯意識を高めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災と防犯のCDを500枚作成、イベントや小学校、地域の団体にPR ・ 防犯のぼり旗2本、新たにチラシ3万部、イベント用のユニフォーム作成 <p>★CDや踊りの話題性のために、ホームページや動画、ユーチューブを検討</p> <p>★市内イベントへの積極的な参加</p> <p>7月、平塚七夕まつりの市民ステージやなでしこ大盆踊り大会、また、8月、平塚八幡宮の例大祭（つるみね幼稚園とのコラボ）、ぼんぼりまつり10月に開催の消防フェスティバルや伊勢原道灌まつりに参加。踊りと寸劇</p> <p>★これまでは、イベントに参加して消防の防火意識の高揚を図ってきましたが、今後は多くのイベントを通じて防火意識だけでなく、警察の防犯意も同時に高め、地域や市民の安心・安全に貢献できるよう活動。</p> <p>特に多発するオレオレ詐欺の抑止効果には期待できます。</p>
<p>③ 事業の計画</p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<p>★CDのことばによる発信力と踊りによる発信を高める特に、消防の防災意識と警察の防犯意識を同時に高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たに4月、CD、500枚作成、イベントや小学校や地域の団体にPR ・ CDの販売活動にも力を入れる。チラシ3万部（振付のデザインも記載）作成 <p>★市内イベントへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月平塚七夕まつりの市民ステージで30分間演舞、寸劇披露、15名 ・ 7月なでしこ大盆踊り大会、30分間演舞、8名 ・ 8月14日、平塚八幡宮例大祭で演舞、10名（つるみね幼稚園とのコラボ） ・ 9月八幡宮ぼんぼりまつりで演舞 10名 ・ 10月平塚市消防フェスティバルや伊勢原道灌まつり（踊りと寸劇）10名 <p>★小学校や幼稚園に意識啓発をおこなっていききたい</p> <p>★消防や警察との連携を強化</p> <p>★ホームページや動画、ユーチューブなどの活用を検討</p>
<p>④ 期待される効果</p> <p>活動・事業実施により、対象（受益者や地域）にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>1枚のCDの中にレッツ防犯とレッツ防犯があるので、消防や警察に対する理解が深まり、火災防止やオレオレ詐欺などの抑止につながる相乗効果が期待できる</p> <p>また、子供や園児、高齢者など多くの市民や消防・警察の関係者等多くの方が、この防災・防犯音頭のCD・/踊りに関わるため、より一層、防災や防犯の意識が高まり、啓発活動が促進すると思います。それにより、地域や家族、市民などの暮らしの安心・安全につながってくると考えられる。</p>
<p>⑤ 協力団体等</p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<p>平塚消防署</p> <p>平塚警察署</p> <p>日本舞踊協会</p>

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

事務局記入欄

発展コース補助割合確認

① 収 入	項目	金額	具体的な内容（積算根拠等）		
	補助金	300000円	平塚市市民活動推進補助金		
	事業収益	50000円	CDの販売、500円×100枚		
	会員の会費	30000円	15名×2000円、		
	収入合計	380000円	発展コース：対象経費360,000円×90%=324,000円	補助金の申請限度額320000円	
② 支 出	項目	事業費	うち対象経費	うち補助金	具体的な内容（積算根拠等）
	消耗品費	5000円	5000円	5000円	事務用品
	物品購入費	200000円	200000円	150000円	踊りユニフォーム代10枚6万円、CDコピー費500枚6万円、CD材料費5万円、インク代18千円、のぼり旗2本12千円
	講師謝金	60000円	60000円	50000円	音源制作費5万円、踊り指導1万円
	印刷費	70000円	70000円	70000円	チラシ3万枚3万円、デザイン代2万円、振り書料2万円
	旅費交通費	20000円	20000円	20000円	10名×500円×4回
	通信費	5000円	5000円	5000円	切手代
	食糧費等	20000円	0円	0円	茶菓子代、ホームページ、動画、YouTube対策費
	支出合計	380000円	360000円	300000円	※備品や器具を購入する場合は、それが事業に必要な理由を記載してください。また、飲食代など助成の対象とならない経費を支出する場合は、「参加費から支出」など収入項目を記載してください。

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。

※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

受付番号	発展コース2
受付月日	令和2年2月7日

令和2年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（入門・発展コース）

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) エヌピイオウホウジン クラシツナガルモリサトカワウミ			
	NPO 法人 暮らし・つながる森里川海			
② 所在地	平塚市見附町			
③ 代表者名	理事長 臼井勝之			
④ 設立年月	2001年4月 (法人格取得年月 2017年5月)			
⑤ ホームページ	https://shonanikimonogakkou.wordpress.com			
⑥ 設立目的・経緯 団体設立の社会的背景や目的・経緯を記入してください。	2001年4月、行政との協働活動による「自然の遊び場 馬入水辺の楽校」を開校した。馬入水辺の楽校の会として、長年活動してきたが、組織力を強化しようと、2017年5月にNPO法人化した。地域の自然環境の保全活動を基軸に「子どもの時は子どもする」を合言葉に、多様な学習活動を展開している。			
⑦ 活動の概要・実績 過去2年程度の主な活動の内容・対象者・実施時期などを分かりやすく記入してください。	馬入水辺の楽校を基軸に、川の自然楽校やヤギ島探検ツアー、おもちゃ広場（木育活動）など、年間60回余りの環境教育活動を展開している。国土交通省の河川協力団体として、相模川のいい川づくりに参画し、「河川整備計画」の策定にかかわる。絶滅危惧種ウナギの保護を図るため、石倉カゴを設置し、普及拡大を図っている。 ■2018年度催し参加人数：1,615人（前年比110%） ■褒賞：神奈川県ボランティア活動奨励賞（2015）神奈川県ちきゅう環境省（2017）安藤スポーツ・食文化振興財団トム・ソーヤースクール企画コンテスト努力賞（2016・2018）奨励賞（2019）、神奈川新聞社地域社会事業賞（2018）、河川財団「川づくり団体部門」優秀成果賞（2017・2018・2019）、令和元年度地域環境保全功労者賞（環境大臣賞）			
⑧ 過去に受けた助成等の実績	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	公益財団法人河川財団	H30・31	各1,000,000	いい川づくり
	安藤スポーツ・食文化振興財団	H31	300,000	冒険体験・環境学習活動
	平塚市民活動ファンド	H29・30	計340,000	組織基盤整備、発展コース
	平塚市市民活動推進補助金	H31	300,000	発展コース
⑨ 令和2年度に受ける予定の助成等	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	公益財団法人河川財団	R2	1,000,000	いい川づくり（申請中）

⑩ 会員数	個人 = 113 人 (うち平塚市民 42 人) 団体 = 1 団体		
⑪ 活動体制	役職名	氏名	住所
	①理事長	白井勝之	平塚市見附町
	②副理事長	中村茂	平塚市天沼
	③理事	露木正巳	秦野市鶴巻
	④理事	峯谷一好	平塚市袖が浜
	⑤理事	池澤光彦	平塚市宝町
	⑥理事	赤木亮	平塚市大神
	⑦理事	深澤博	平塚市明石町
	⑧監事	加藤幸子	平塚市八重咲町
	⑨		
⑩			

2 補助申請の内容

① 事業名	馬入水辺の楽校の利活用促進事業
② 申請コース	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ 発展コース
③ 申請額	【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限有(1回目 90%、2回目 80%、3回目 70%)】 50万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的	<p>馬入水辺の楽校は川の自然と触れ合える場づくりを図ろうと、行政との協働活動で開校された。今年で20年目を迎える。自然環境の保護・保全活動、多様な環境学習活動の展開等、成果を上げているが、当法人の自己資金による運営で、公的な資金助成が無いことや当法人の運営体制が脆弱であること等により、その継続性が担保されていない。課題を克服する為、市民力の結集により、環境教育活動の拠点づくりを目的に、フィールドミュージアム(野外博物館)化を図ると共に、多様な環境学習活動を展開する中、利用実績を上げ、存在価値を高め、運営体制の確立に結び付けたい。</p> <p>■ 社会的背景 日本の子どもたちは元気がありません。学力・体力・運動能力の低下、生活習慣病の増加、コミュニケーション能力の低下、不登校、いじめ、自殺等、極めて危険な状況に置かれています。自然離れも深刻です。子どもたちの生育環境の改善、自然環境と触れ合える場づくりが必要です。環境悪化も進んでいます。ツバメやニホンミツバチなど身の回りに普通だった生き物が姿を減らしています。マイクロプラスチック汚染、地球温暖化等、先送りできない状況になっています。</p> <p>上記の課題を解決するためには、市民が自分ごととして取り組む展開方策が必要です。馬入水辺の楽校をベースに、地域のコミュニティと密接にからみあった展開、人、モノ、資金、情報の共有化に裏打ちされた推進体制の構築を目指します。</p>
---------	--

<p>② 事業の内容</p> <p>①の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>■ 市民参加によるフィールドミュージアムづくり</p> <p>馬入水辺の楽校の利活用を促進させるためには、当地に思い入れを持つ志民の参加が必要です。志民が自分ごととして主体的に参加できる、思い入れを醸成できるようなプログラムを実施し、市民のための、市民の水辺の楽校を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ワークショップ「水辺リング in 馬入水辺の楽校」の開催による、アウトドアのイベント「湘南ピクニック」の開催（団体や企業、行政との協働） 2. 自然探検団を基軸にした環境教育活動の展開（探偵団意外の市民参加も募る） <ol style="list-style-type: none"> ①相模湾ネチャーウォッチングクルーズ、②やぎ島探検ツアー、③ががが魚探り、④県立城山公園夜の対比観察、⑤昆虫すごいぞ、⑥馬入水辺の楽校ナイトハイ、⑦カエル池かいぼり、⑧平塚新港海お魚調べ、⑨バク飛ばし大会、⑩アーマトフッキング、⑪お散歩バーディング、⑫おもちゃ広場、⑬五感を育む自然観察、⑭地べた探検、⑮かき教室 3. 生き物がかり隊の結成による環境保全活動の実施 4. ナチュラリスト養成講座の開講による環境志民の育成 5. フィールドミュージアム（野外博物館）の機能整備 <p>※自然探偵団、生き物がかり隊、ナチュラリストと連動</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 浜口哲一自然観察の路の整備：草刈、自然観察ガイドパネルの設置など (2) 生物多様性の保全活動 <ol style="list-style-type: none"> ①バタフライガーデン・花垣づくり：人が見ても美しく、生き物にも優しい庭造り ②ウナギの棲む川づくり運動：石倉カゴや魚道の設置、水生生物調査、護岸への設置要請活動など ③ミニバードサンクチュアリづくり（日本野鳥の会神奈川支部と協働） ④エコスタックの設置、木々の管理、草刈り等の環境整備 <p>※草刈機は安全作業研修が必要なため外部研修を受講</p> 6. 運動の輪を広げる（森と海はつながる）相模川流域での活動展開
<p>③ 事業の計画</p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ワークショップ（年6回）、湘南ピクニック：11月2日間：アウトドア体験、音遊び、クラブトづくり、ともじびの夕べなど実施）計 3,060 名参加 2. 相模湾ネチャーウォッチングクルーズ（4,5月）、やぎ島探検ツアー（6月）ががが魚探り（7月）、県立城山公園夜の対比観察（6月）、昆虫すごいぞ（5,7月）、馬入水辺の楽校ナイトハイ（8月）、カエル池かいぼり（8月）、平塚新港お魚調べ（4,9月）、バク飛ばし大会（9月）、アーマトフッキング（12月）、お散歩バーディング（12,1,2,3月）、おもちゃ広場（年6回）：おもちゃとの触れ合い、音遊び、けん玉教室など、五感を育む自然観察（年2回）、地べた探検（2月）、かき教室（年2回）、川の生き物調べ（6月）計 400 名参加 3. 生き物がかり隊による環境保全活動（月1回）：エコスタックの設置、木々の管理、草刈り、ガイドパネル設置、バタフライガーデン・花垣づくり、ミニバードサンクチュアリづくり計 120 名参加 4. ナチュラリスト養成講座（全9回）計 45 名参加 5. ウナギの棲む川づくり（4,8,3月）計 60 名参加 6. 運動の輪を広げる相模川流域での活動展開：平塚市緑化祭り・ササマルシェ参加（草笛教室、ストーンペインティングなど）、相模川クリーンキャンペーン参加
<p>④ 期待される効果</p> <p>活動・事業実施により、対象（受益者や地域）にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもたちや市民の自然体験活動が促進され、環境市民の育成が図れる ■ 馬入水辺の楽校の持続可能な運営体制の構築につながる <p>市民参加の取組（ワークショップ、生き物がかり隊、ナチュラリスト養成講座、自然探偵団）により、自然体験の場づくりについて、自分ごととして捉え、考え、行動してくれる市民が増加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ フィールドミュージアム化の促進が図れる <p>利用しやすい環境整備や多様なイベント開催により、利用者が増大し、当地の役割、存在価値が高まる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 経済的側面の利活用による新たな利活用方策の誕生 <p>団体や企業、行政等の協働によるイベント「湘南ピクニック」の開催により、経済的側面の利活用策が見いだされる。</p>
<p>⑤ 協力団体等</p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<p>桂川・相模川流域協議会、日本野鳥の会神奈川支部、NPO 法人ひらつかエネルギーカフェ、NPO 法人フュージョン永池、地域ボランティア「ゆとりすと」、茅ヶ崎市どんぐりさんのおもちゃ広場、学校法人平塚学園（松風幼稚園）、学校法人進和学園、東京環境工科専門学校、湘南生活クラブ生協、平塚市漁業協同組合、ららぽーと湘南平塚、湘南ケーブルネットワーク（株）、（株）タウンニュース社、（株）湘南ジャーナル社、（株）ピオトープギルド、（株）建設環境研究所、神奈川県内水面試験場、松原公民館、四之宮公民館、平塚市、神奈川県、国土交通省京浜河川事務所</p>

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

① 収 入		② 支 出	
項 目	金額	事業費	具体的な内容（積算根拠等）
補助金	500,000円		
参加費	300,000円		
自己資金	699,090円		
収入合計	1,499,090円		
		うち対象経費	うち補助金
		390,850円	180,000円
		77,000円	0円
		10,000円	0円
		835,760円	280,000円
		185,480円	40,000円
支出合計	1,499,090円	1,499,090円	500,000円
			※上記費用の内、下線が補助金姿勢金額

受付番号	発展コース3
受付月日	令和2年2月7日

令和2年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（入門・発展コース）

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) コドモガクシユウシエングループ スカノテラコヤ			
	子ども学習支援グループ 須賀の寺子屋			
② 所在地	平塚市札幌町			
③ 代表者名	大野 文			
④ 設立年月	2016年 12月 (法人格取得年月 年 月)			
⑤ ホームページ	http://sites.google.com/view/sukanoteragoya			
⑥ 設立目的・経緯	<p>近年、貧困や学力低下等の問題を抱える子どもの割合が増す中、本市に於いても本人や家族の事情により家庭学習が十分に行いづらく、学習塾等に通うことが困難な小中学生の割合が高まっている。</p> <p>そこで、社会を明るくする運動に関わるメンバーや元教員等、地域の有識者がボランティアで、自主学習に何らかの問題を抱えている小中学生を対象に無料で学習支援を行い、学習の喜びと習慣を身につけ、学習意欲と学力向上を目指し、将来、犯罪や非行に陥ることのない青少年の健全な育成を目的とした活動を展開している。</p>			
⑦ 活動の概要・実績	<p>主な活動と開催回数、出席者の延べ数。R1年度は4月～1月までの実績。</p> <p>1.毎月2回小学生対象の学習支援…H30年度17回、小学生125名、支援員・見守り178名 R1年度17回、" 86名、" 119名</p> <p>2.毎月2回中学生対象の学習支援…H30年度20回、中学生380名、" 398名 R1年度22回、" 428名、" 439名</p> <p>3.夏休みの宿題と理科実験教室… H30年度 小学生4回/52名、中学生1回/5名、支援員25名 R1年度 小学生4回/55名、中学生1回/11名、支援員8名</p> <p>その他、中学生のための試験・受験対策教室、新中一になる小学生のための入学準備教室や、保護者からの相談対応、会員相互の研修・懇親会、広報活動など行った。</p>			
⑧ 過去に受けた助成等の実績	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	ひらつか市民活動ファンド	H29年4月	80,000円	入門コース
	ひらつか市民活動ファンド	H30年4月	140,000円	発展コース
	平塚市市民活動推進補助金	H31年4月	210,000円	教材費、講師謝礼費、他
⑨ 令和2年度に受ける予定の助成等	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	平塚市市民活動推進補助金	R2年4月	280,000円	タブレット端末、教材費、他

⑩ 会員数	個人=40人（うち平塚市民 37人） 団体=.....団体		
⑪ 活動体制 活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。	役職名	氏名	住所
	① 会長	大野 文	平塚市札幌町
	② 副会長	小泉 和美	平塚市大神
	③ 会計	石原 祖子	平塚市平塚
	④ 総務	岡田 すみれ	平塚市堇平
	⑤ 総務	三谷 克美	平塚市袖ヶ浜
	⑥ 見守り支援員	横田 佐知子	平塚市高浜台
	⑦ 学習支援員	清田 宗彦	平塚市幸町
	⑧ 学習支援員	中村 輝夫	平塚市千石河岸
	⑨ 学習支援員	中里 恵	平塚市千石河岸
⑩ 顧問	栗木 雄剛	秦野市西田原	

2 補助申請の内容

① 事業名	子どものための学習支援教室
② 申請コース	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ 発展コース
③ 申請額	【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限有(1回目 90%、2回目 80%、3回目 70%)】 28万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的 「なぜ、この事業を実施したいのか？」 「どんな課題を改善したいのか？」 「社会や市民のために、どのような公益性があるのか？」 などを、社会的背景を含めて具体的に記入してください。	<p>家庭学習や自主学習に何らかの問題を抱えているために、学校で楽しく勉強できず、通常授業について行かれなくなっている小中学生を対象に、放課後や長期休業時に、学習支援員と個別に楽しく学習することで、子どもたちの学習意欲と学力向上が図れ、学校生活を意欲的に送れるようになることを目指す。</p> <p>子どもたちの学習や見守りの支援には、市内在住在学在勤の若者や、定年退職後の元教員等の有識者がボランティアとしてあたり、家族や教員とは違った目線で子どもと触れ合うことで、自分の長所や可能性を発見し、認識できる機会も増え、自己肯定感や自尊心を高め培うことも期待できる。また、支援員の中には高齢の協力者も少なくない。豊富な知識を子どもたちに提供していただき、セカンドライフの活躍の場としても期待できる。引きこもりがちな生活を送っている方々にも協力してもらい、社会との接点の一つになる場としても期待できる。</p>
---	---

<p>② 事業の内容</p> <p>①の事業の目的で記入した内容をひまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 小学生寺子屋 宿題や教材、タブレット端末を通して、苦手な所を支援して楽しく学習する。美術鑑賞学習等を通して、自分の考えを言語化し語彙力を身につける。 小学生夏休み宿題教室 宿題支援や自由研究の相談。中高大学生のボランティアと共に楽しく学習する。 理科教室 小中学生を対象に、東海大学の大学院生により身近な自然環境をテーマに、体験的な学習をする。講師:NPO 法人東海大学地域環境ネットワーク、東海大学大学院人間環境学研究科藤野研究室 中学校入学準備教室 中学校入学を控えた小学6年生を対象に、平塚地区 BBS 会、ユースボランティアおよび太洋中学校生徒の学習支援ボランティアと、小学校の総復習と中学1年の学習体験を通して、中学校生活への期待を膨らませ、不安を軽減する。 中学生寺子屋 生徒の希望する教科の学習支援をする。タブレット端末を活用した学習を希望する子どもが5名いるため、タブレット端末の不足分を補充する。 支援員のための研修 ・主に学習支援員を対象に、専門講師による学習支援に役立つ基礎的な研修を行う。 ・運営に必要な知識を得るための研修会等への積極的な参加。 広報活動 須賀の寺子屋通信発行。リーフレット作成・配布。各種募集チラシ作成・配布等。
<p>③ 事業の計画</p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 小学生寺子屋 定員:10名。場所:太洋中学校体育館会議室。夏休みを除く毎月第2・第4木曜日、16:30~17:30、定期開催。 小学生夏休み宿題教室 定員:20名。場所:太洋中学校体育館会議室。7~8月の木曜日に4回開催。平塚地区 BBS 会、ユースボランティアおよび太洋中学生徒に学習支援ボランティアを依頼する。 理科教室 定員:小学生20名、中学生10名。場所:太洋中学校体育館会議室。日程:8月13日(木)小学生は午前、中学生は午後開催。 中学校入学準備教室 定員:小学6年生10名。場所:太洋中学校体育館会議室。日程:2021年3月25日(木)、16:00~17:30開催。 中学生寺子屋 定員:25名。場所:太洋中学校体育館会議室。毎月第1・第2・第4木曜日、18:40~20:30定期開催。第1木曜日はタブレット学習希望者対象。 支援員のための研修 定員:40名、場所:太洋中学校体育館会議室。支援員対象。年4回程度開催。他団体主催の研修会等(5回)へ必要に応じて参加する。 広報活動 須賀の寺子屋通信を年5号発行。2020年度版リーフレット1000部作成・配布。各種募集チラシの作成・配布等。
<p>④ 期待される効果</p> <p>活動・事業実施により、対象(受益者や地域)にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 寺子屋を毎月2~3回開催することで、児童・生徒が学習の仕方を学び、弱点の克服や学習習慣を身につけることができ、個々の子どもの特性に応じた支援により、学力の向上を期待できる。 タブレットを利用した学習を取り入れ、多様な子どものニーズに合った学習支援の対応ができる。 夏休み宿題教室により、長期休業中でも学習習慣や学習意欲を継続できる。 理科教室では、東海大大学院生による実験や観察などの体験を通して地域の自然環境を楽しく学習することで、自然環境保全への興味を育てる。 支援員のための基礎研修会を行うことで、充実した学習支援活動を展開するスキルアップができる。 団体運営に必要な知識を学ぶことで、活動の充実と発展を目指すことができる。 有効な広報活動を通して、支援を求める子どもたちやボランティアに情報提供ができる。
<p>⑤ 協力団体等</p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市立太洋中学校 平塚地区更生保護女性会 平塚地区 BBS 会 平塚ライオンズクラブ NPO 法人ぜんしん NPO 法人東海大学地域環境ネットワーク しえんのまなび舎 ひらつか子ども学習支援ネットワーク

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	金額	具体的な内容（積算根拠等）		
① 収入				
補助金	280,000 円	平塚市市民活動推進補助金		
団体会計より	125,528 円	寄付金等		
	円			
	円			
収入合計	405,528 円	発展コース：対象経費 405,528 円 × 70% = 283,869 円 補助金の申請限度額 280,000 円		
② 支出				
項目	事業費	うち対象経費	うち補助金	具体的な内容（積算根拠等）
教材費	20,000 円	20,000 円	14,000 円	学習ドリル等 10,000 円、 学習指導用資料 10,000 円 (②2,000 × 5)
消耗品費	74,600 円	74,600 円	50,000 円	コピー用紙 A4:7,500 枚 5,100 円 B4:5,000 枚 6,000 円 インク 17,500 円、トナー 14,000 円、教材整理用品 10,000 円、 文具 5,000 円、ワイヤレスブスター 13,000 円、名札 4,000 円
備品費	222,060 円	222,060 円	155,000 円	タブレット端末 3 台 74,020 円 × 3 台 222,060 円、 ※タブレット端末による映像授業とデジタル問題集を利用して、自主学習を導 入する。
講師謝礼費（交通費を含む）	57,500 円	57,500 円	40,000 円	NPO 法人東海大学地域環境ネットワーク 15,000 円、 平塚地区 BBS 会 10,000 円、研修会 4 回 20,000 円 (②5,000 円 × 4)、 中高生ボランティアに図書カード 12,500 円 (②500 円 × 25 名)
旅費、交通費	11,368 円	11,368 円	8,000 円	理科教室打ち合わせ 6,368 円 平塚駅北口⇄東海大学前バス往復運賃 796 円 × 8 回 研修会参加交通費 5,000 円
研修会参加費	5,000 円	5,000 円	3,000 円	研修会費用 (②1,000 円 × 5 回)
リーフレット作成費	15,000 円	15,000 円	10,000 円	寺子屋の 2020 年版リーフレット デザイン料 10,000 円、印刷費 5,000 円 (1,000 部)
支出合計	405,528 円	405,528 円	280,000 円	

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。

※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

受付番号	発展コース4
受付月日	令和2年2月12日

令和2年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（入門・発展コース）

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) シーバード			
	シーバード			
② 所在地	神奈川県平塚市桃浜町			
③ 代表者名	柳町 一正			
④ 設立年月	平成30年	3月	(法人格取得年月 年 月)	
⑤ ホームページ	http://			
⑥ 設立目的・経緯	平塚市の海岸隣接地域に在住、生活しているメンバーを中心とする有志で、平塚の海岸の魅力の発信と子どもたちへのビーチスポーツの紹介、ひらつかビーチパーク指定管理団体への協力を目的として任意団体を設立。			
団体設立の社会的背景や目的・経緯を記入してください。				
⑦ 活動の概要・実績	平成30年11月12日 第1回湘南ひらつかジュニア・ビーチサッカーフェスタ 令和元年5月12日 第2回湘南ひらつかジュニア・ビーチサッカーフェスタ			
過去2年程度の主な活動の内容・対象者・実施時期などを分かりやすく記入してください。	各回とも平塚市内の4年生から6年生約90名を対象として、ひらつかビーチパークにおいて、ビーチサッカー全日本監督ラモス瑠偉氏、全日本代表選手たちによるビーチサッカー指導、ミニゲーム、ビーチクリーン活動を行った。			
⑧ 過去に受けた助成等の実績	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	子どもゆめ基金	元年5月	301,381円	
⑨ 2年度に受ける予定の助成等	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容

⑩ 会員数	個人＝ 6 人（うち平塚市民 3 人） 団体＝ 団体		
⑪ 活動体制 活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。	役職名	氏名	住所
	1. 代表理事	柳町一正	平塚市袖ヶ浜
	2. 副代表理事	門田 和彦	平塚市見附町
	3. 会計	内田 充	平塚市龍城ヶ丘
	4. 理事	峰尾 剛史	藤沢市鶴沼藤が谷
	5. 理事	淀川 雄二郎	町田市金井
	6. 監事	金城 信行	沖縄県中頭郡北谷町

2 補助申請の内容

① 事業名	湘南ひらつかジュニア・ビーチサッカーフェスタ
② 申請コース	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ 発展コース
③ 申請額	【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限有(1回目90%、2回目80%、3回目70%)】 50万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的 「なぜ、この事業を実施したいのか？」 「どんな課題を改善したいのか？」 「社会や市民のために、どのような公益性があるのか？」 などを、社会的背景を含めて具体的に記入してください。	<p>より多くの子どもたちがひらつかビーチパークを利用し、自然と触れ合いながらビーチパークの楽しさを体感してもらい、ビーチパークにまた来たいという気持ちを育てます。</p> <p>子どもたちが同年代で学区外の他校児童や指導者、協力者及びビーチパーク来場者など多くの人たちとの交流を通して、地域の一員であることを自覚し、この地域を大切にしたいという気持ちをもってもらう。それにより良好な平塚海岸地域の環境維持を図り、子どもたちの健全な育成に寄与し、ビーチカルチャー発展、更には平塚の海岸地域から活気ある平塚のまちづくり促進を目指します。</p> <p>また、子どもたちがプロのビーチサッカー選手と一緒にビーチサッカーをすることで、プロによる一流プレーを体感し、プロスポーツへの憧れや将来の夢を育てることを目的とします。</p>
---	--

<p>② 事業の内容</p> <p>①の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>第3回湘南ひらつかジュニア・ビーチサッカーフェスタ</p> <p>ひらつかビーチパークにおいて平塚市内の小学生高学年を対象にビーチサッカーフェスタを開催します。さまざまな人たちとの交流を通して、子どもたちがビーチサッカーの楽しさやひらつかビーチパークの良さを体感することができます。</p> <p>① ビーチクリーン活動 子どもたちと指導者、協力者、及びビーチパーク利用客に協力してもらい、3つのグループを作り、グループごとに「燃えるゴミ」「プラスチックゴミ」「その他のゴミ」を収集します。子どもたちが年代を越えて幅広く地域の人達と交流することができます。</p> <p>② ビーチサッカースクール 子どもたちを学区外の児童と組むよう12チームに分け、チームごとにパス練習など指導を受けます。プロビーチサッカー選手によるデモンストレーションを見ます。子どもたちが他校の児童と同じチームになることで同世代の交流を広げることができます。同時に、プロビーチサッカー選手や協力者である星槎学園チームとの交流も図れます。</p> <p>③ ビーチサッカーゲーム 子どもたちを12チームに分け、チームごとに他チーム、星槎学園チーム、指導者チームと順番に対戦します。子どもたちがゲームを通して協力し合い、また、プロビーチサッカー選手との技術交流が図れます。</p>
<p>③ 事業の計画</p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<p>第3回湘南ひらつかジュニア・ビーチサッカーフェスタ</p> <p>日 時：2020年11月3日の予定 場 所：ひらつかビーチパーク 参加者：事前に募集した平塚市内の小学生4年生～6年生 約80名 指導者：ビーチサッカー日本代表選手など約8名 協力者：星槎高校女子サッカー部員ほか約40名 当日スケジュール： 11：00 受付 12：00 開会式、ビーチクリーン活動 12：40 デモンストレーション（プロ選手による技術披露） 13：00 ビーチサッカースクール 14：00 ビーチサッカーミニゲーム 15：30 閉会式</p>
<p>④ 期待される効果</p> <p>活動・事業実施により、対象（受益者や地域）にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>子どもたちに平塚の海が楽しい場所であるということを知ってもらい、この環境を守りたいという気持ちが芽生えること、また、子どもたちが交流を通して協力し合うことの大切さに気付くことを望みます。そして、子どもたちがひらつかビーチパークに関心を持って遊びに来る機会が増え、このひらつかビーチパークが平塚市民の大切な財産として、より開かれた活気あるビーチとなることを期待します。</p> <p>更に、子どもたちがプロスポーツ選手への憧れを持ち、夢を育むことを期待します。</p>
<p>⑤ 協力団体等</p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<p>株式会社ピースフル（ひらつかビーチパーク指定管理者） 株式会社武翔総合管理（ひらつかビーチパーク指定管理者） CARIOCA SPORTS Promotion 一般社団法人星槎湘南大磯総合型スポーツクラブ 琉球エリスリナ BEACH SOCCER FRIENDS</p>

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	金額	具体的な内容（積算根拠等）	
① 補助金	500,000 円	平塚市市民活動推進補助金	
協賛金	1,250,000 円	200,000 円×1社、100,000 円×2社、50,000 円×14社、30,000 円×5社	
自己資金	64,280 円		
収入	円		
収入合計	1,814,280 円	発展コース：対象経費 1,779,280 円 × 90% = 1,601,352 円 補助金の申請限度額 500,000 円	
② 項目	事業費	うち対象経費	うち補助金
謝金	1,280,000 円	1,280,000 円	720 円
交通費	251,280 円	251,280 円	251,280 円
宿泊費	63,000 円	63,000 円	63,000 円
保険代	5,000 円	5,000 円	5,000 円
ポスター代	180,000 円	180,000 円	180,000 円
飲食代	35,000 円	0 円	0 円
支出	円	円	円
支出合計	1,814,280 円	1,779,280 円	500,000 円

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。
 ※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

受付番号	発展コース5
受付月日	令和2年2月12日

令和2年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（入門・発展コース）

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) ヤフタ キョウドシ ヘンサン イインカイ 八幡郷土史編纂委員会			
② 所在地	平塚市西八幡			
③ 代表者名	嶋崎 光			
④ 設立年月	平成 23 年 5 月 (法人格取得年月 年 月)			
⑤ ホームページ	http://			
⑥ 設立目的・経緯 団体設立の社会的背景や目的・経緯を記入してください。	八幡小学校課外授業の一環で、八幡の歴史を児童に教える事となりましたが、八幡の歴史に関する資料が全く無く、当時の八幡地区自治会連合会の定例会の席で資料整備の為の掲題委員会の設立を提案し、満場一致で承認されました。それから現在に至るまで、八幡地区の新規参加者の増加は目覚ましいものがあります。それら、新たに住民になられた方々に八幡の歴史を良く理解頂き、共に地域の発展の一助になる事を熱望しております。			
⑦ 活動の概要・実績 過去2年程度の主な活動の内容・対象者・実施時期などを分かりやすく記入してください。	平成31年度は計28回の編纂会議を行いました。 以前地元にお住まいで、現在は小田原在住の長老の方も時々ご参加頂き、昔の八幡の事などをお話し頂いております、又、民俗学と歴史学の博士で、某女子大の教授をされている方も不定期ですがご参加頂き貴重なアドバイス等を受ける様になりました。			
⑧ 過去に受けた助成等の実績	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	八幡地区自治会連合会	29、5	¥50,000	
	同上	30、5	¥40,000	
	市民活動推進補助金	31、4	¥100,000	入門コース
⑨ 来年度に受ける予定の助成等	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	八幡地区自治会連合会	2、5	¥40,000	

⑩ 会員数	個人＝.....7.....人（うち平塚市民.....7.....人） 団体＝.....団体		
⑪ 活動体制 活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。	役職名	氏名	住所
	① 会長	嶋崎 光	平塚市西八幡
	② 副会長	岩原 裕	平塚市東八幡
	③ 会計監査	平野 忠弘	平塚市西八幡
	④ 会計	馬島 申	平塚市西八幡
	⑤	宮川 利男	平塚市西八幡
	⑥	原田 勝治	平塚市東八幡
	⑦	高梨 祐治	平塚市西八幡
	⑧		
	⑨		

2 補助申請の内容

① 事業名	八幡郷土史集大成本の完成
② 申請コース	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ 発展コース
③ 申請額	【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限有(1回目 90%、2回目 80%、3回目 70%)】 37万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的 「なぜ、この事業を実施したいのか？」 「どんな課題を改善したいのか？」 「社会や市民のために、どのような公益性があるのか？」 などを、社会的背景を含めて具体的に記入してください。	『八幡の郷土史』（仮称）発刊を通じて後世に伝えるべき八幡の歴史を文字と写真、絵に残しておきたい。 後刻、八幡に住む住民が昔は八幡と言う地域はこんな文化・歴史があったのか、主に民族学的見地から纏めていきたい。 ※やわたには、古文書や書物が何も残っていない。
---	---

<p>② 事業の内容</p> <p>①の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>毎月2回会員が集い、郷土史の改編・編纂活動を八幡自治会館でおこなう。今まで継続してきた、作業と、集大成本の発刊作業。発刊後、本の説明会を行いたい。</p> <p>予算の限度を考慮すると、500冊が限度と思慮されます。500冊は、八幡小学校、神明中学校、八幡公民館、八幡の医院、元・現の自治会役員、郷土史編纂委員会メンバー、単位自治会等に配布する予定です。</p> <p><本の内容> 約6,000年前の八幡の地形、八幡の歴史、小字名、現在の地名、昭和の時代と人々の暮らし、戦争体験。子供の頃の体験談、八幡のランドマーク、昔八幡にあった商店・工場等、八幡の年表等</p>
<p>③ 事業の計画</p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<p>隔週水曜日の午後から夕方まで、会員が集い新たな資料の分析、文言の修正郷土史に掲載するテーマの峻別などを行う。</p> <p>上半期中に製本準備を行い、下半期に製本・配布を行う。</p>
<p>④ 期待される効果</p> <p>活動・事業実施により、対象（受益者や地域）にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>同じ土地に住む人達が同じ郷土史基盤の上に立ち、より良い郷土作りに励んでいきたい、特に近年、郷土の行事に関心が無い、或いは知らない世代が増えているように感じます。それらを踏まえてその意義や歴史等も伝えていき伝統を継承していきたい。</p>
<p>⑤ 協力団体等</p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<p>八幡地区自治会連合会</p>

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

収 入	項 目	金額	具体的な内容（積算根拠等）		
①	補助金	¥370,000	平塚市市民活動推進補助金		
	補助金	¥40,000	八幡地区自治会連合会		
	会費	¥14,000	¥2,000 (年) X 7名 = ¥14,000		
		円			
		円			
	収入合計	¥424,000	発展コース：対象経費 ¥412,000 × 90% = 370,800	補助金の申請総額	¥370,000
②	項 目	事業費	うち対象経費	うち補助金	具体的な内容（積算根拠等）
	製本費用	¥400,000	¥400,000	¥370,000	¥800 (冊) × 500冊
	施設使用料	¥12,000	¥12,000		自治会館使用料 ¥500 X 24回 = ¥12,000
	会議費（お茶等）	¥12,000			内訳 お茶 ¥500 X 24回 = ¥12,000
支 出		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	
	支出合計	¥424,000	¥412,000	¥370,000	※備品や器具を購入する場合は、それが事業に必要な理由を記載してください。また、飲食代など助成の対象とならない経費を支出する場合は、「参加費から支出」など収入項目に記載してください。

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。
 ※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

受付番号	発展コース6
受付月日	令和2年2月12日

令和2年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（入門・**発展コース**）

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) ショウナンヒラツカ・ユルギチクカッセイカニムケタキョウギカイ 湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会			
② 所在地	平塚市下吉沢			
③ 代表者名	秋山 貢			
④ 設立年月	平成19年 10月 (法人格取得年月 年 月)			
⑤ ホームページ	なし			
⑥ 設立目的・経緯 団体設立の社会的背景や目的・経緯を記入してください。	吉沢地区における農業の担い手の減少、高齢化、荒廃山林の増加等による里山環境悪化などの地域問題解決のため、平成19年10月吉沢地区住民により当協議会を設立。同22年11月「平塚市まちづくり条例」に基づく「地区まちづくり協議会」として平塚市の第1号の団体認定を受け、吉沢地区の活性化に向けた様々な活動に取り組んできた。東京農大や東海大を交えて、里山保全のためのイベント開催や、「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」における散策路整備・景観づくり等の地道な活動を継続。里地里山の保全・活用を図る取り組みの一環として、平成28年1月に「吉沢八景」を発表。市民ファンドの活用、情報発信等で交流人口の増加を図っている。			
⑦ 活動の概要・実績 過去2年程度の主な活動の内容・対象者・実施時期などを分かりやすく記入してください。	1. ワークショップ：(開催年月)平成30年3.6.10月、令和元年3.6月、(対象者)平塚市及び近隣在住者、東京農大・東海大教職員・学生等80~120名、(活動内容)吉沢八景の整備、八景ウォークラリー、トンボの観察、クラフト等 2. 吉沢八景活用事業：平成30年度のひらつか市民ファンドを活用し、総合案内板、散策コースに丸太ベンチを制作・設置。ガイドブックを印刷し、各所で配布。 3. トンボの里づくりプロジェクト：平成30年6月より2年間、計6回吉沢地区のトンボモニタリング調査を実施。令和元年6月以降、ゆるぎ地区内の湿地にトンボ池を試験施工し、トンボ観察の他、自動撮影カメラによる害獣のモニタリングも継続的に実施。			
⑧ 過去に受けた助成等の実績	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	美化推進モデル地区	H30年3月	約10,000円	(物品)美化推進に資する資材
	美化推進モデル地区	H31年3月	約10,000円	(物品)美化推進に資する資材
	ひらつか市民活動ファンド	H29年4月	300,000円	発展コース
⑨ 2年度に受ける予定の助成等	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	美化推進モデル地区	R2年3月	約10,000円	(物品)美化推進に資する資材

⑩ 会員数	個人＝ 170 人（うち平塚市民 170人） 団体＝ 団体		
⑪ 活動体制 活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。	役職名	氏名	住所
	① 会長	秋山 貢	平塚市上吉沢
	② 副会長	久保田 慎司	平塚市上吉沢
	③ 副会長	山田 行男	平塚市下吉沢
	④ 副会長	小林 久美	平塚市めぐみが丘
	⑤ 事務局長	二宮 隆	平塚市上吉沢
	⑥ 事務局長	若林 昌治	平塚市下吉沢
	⑦ 専務理事	坂間 勇	平塚市上吉沢
	⑧ 専務理事	二宮 正昭	平塚市上吉沢
	⑨ 専務理事	小泉 光雄	平塚市下吉沢
⑩ 専務理事	小巻 隆	平塚市上吉沢	

2 補助申請の内容

① 事業名	吉沢八景活用事業～トンボの里づくり～
② 申請コース	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ 発展コース
② 申請額	【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限有(1回目90%、2回目80%、3回目70%)】 50万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的 「なぜ、この事業を実施したいのか？」 「どんな課題を改善したいのか？」 「社会や市民のために、どのような公益性があるのか？」 などを、社会的背景を含めて具体的に記入してください。	<p>当協議会では、平塚市の西部丘陵地域に位置する吉沢地区に広がる、日本の原風景とも言える美しい里地里山の景観を後世に残し育むために、東京農業大学、東海大学、平塚市と連携し「吉沢八景選定プロジェクト」を立ち上げ、平成27年11月に「吉沢八景」を選定し、平成28年1月に公表した。</p> <p>吉沢八景を通じて吉沢地区を平塚市内外の多くの人々に知ってもらおうべく、散策コース周辺の整備やガイドブック等による情報発信を行っているが、平成30年に新たに「トンボの里づくり」を企画した。以前、吉沢地区でたくさん見られたトンボを復活させ、来訪者が乱舞するトンボとたわむれながら吉沢地区を散策し、豊かな自然や歴史を満喫することを期待するもの。</p> <p>令和元年、吉沢八景の散策路沿いの湿地にトンボ池を試験施工。この池は地面に穴を掘り湧水を溜めた簡易的な造りだが、今回、市民活動推進補助金でトンボ池を含めた周辺を整備し、観光及びトンボ生育の拠点構築を目指す。</p> <p>拠点ができることで、平塚市内外から吉沢地区にたくさんの方が訪れる動機付けとなり、吉沢八景とトンボの連携により、吉沢地区が里地里山の恵みを受受できる場として広く認識されることを期待する。</p>
---	--

<p>② 事業の内容</p> <p>①の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>「吉沢八景」事業は市民の間に浸透しつつあるが、より多くの市民が吉沢地区に足を運び自然と歴史のすばらしさを満喫して頂ける様、新たに「トンボの里づくり」事業を企画した。今年度はトンボが生まれる場所（池）の適地を探索し、ゆるぎ山中の吉沢八景散策路沿いの湿地にトンボ池の試験施工を実施。次年度から当地で以下の整備活動を行い、事業の活動拠点を構築した上で、減少しつつあるトンボの復活を実現させる。近い将来、「トンボの里吉沢」が、各地から集うたくさんの訪問者に感動と喜びを与えられる地域として成長できることを期待する。</p> <p>【事業の内容】</p> <p>① 獣害対策のための柵・門扉の設置 過去のモニタリングにより、トンボ池周辺でイノシシやノウサギなど多数の害獣を確認。整備したトンボ池・木道の獣害を防止するためネット柵を設置。散策路から木道へと進む出入口には門扉を設置し、散策路沿いは訪問者の転倒防止のため、ネットの端を固定する杭を設置する。</p> <p>② 散策者がトンボ池へ気軽に訪れるための木道の整備 試験施工した3箇所（トンボ池周辺）は湿地であるため、散策路とトンボ池を結ぶアプローチ路として木道を整備する。</p> <p>③ トンボ池の修景・水の維持を目的とした擬木土留めの設置 トンボ池は、散策や観察等で多くの人々の目に留まるため、水の維持も兼ねて池の周囲を擬木土留めで囲う修景を行う。</p> <p>④ トンボ池の管理のためのベンチストッカー（ベンチ型の倉庫）の設置 トンボ池の維持のため必要な作業道具（スコップ、鎌等）をトンボ池周辺に保管するため、ベンチストッカーを設置し管理活動を行う。ベンチとして作業員や散策者の休憩の場としても機能させる。</p>
<p>③ 事業の計画</p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<p>【令和2年度】</p> <p>1. 年3回（6.10.3月予定、各回30名程度参加）ワークショップを開催し、トンボ池の整備を促進。市民活動推進補助金を利用。 ・6月 上記①及びトンボ池周辺の草刈り、トンボ成虫の観察 ・10月 上記②及びトンボ池周辺の草刈り、トンボ成虫・幼虫の観察 ・3月 上記③、④及びトンボ池周辺の草刈り、トンボ幼虫の観察</p> <p>2. 協議会役員中心のボランティアでトンボ池周辺の整備を随時実施する。</p> <p>【令和3年度以降】</p> <p>1. 年3回のワークショップ（開催月、参加人数は令和2年度と同じ）で管理活動（草刈り、前年度に整備した設備の改修・補修等）を行う。 2. 協議会役員中心のボランティアで里山整備活動を継続して行う。 3. 吉沢地区の小中学生に体験学習としてトンボ池管理の一部を依頼する。</p>
<p>④ 期待される効果</p> <p>活動・事業実施により、対象（受益者や地域）にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>1. トンボ池の整備が進むことで、トンボを目当てに吉沢八景を散策する来訪者が増加（交流人口の増加）し、地域活性化が図られる。</p> <p>2. 地域住民のみならず平塚市民の間で、貴重な自然や生物の保護・維持への意識が高まり、ボランティア活動、ワークショップ活動や美化推進活動等に積極的に参加するため、里地里山の景観整備が更に進む。</p> <p>3. 里山の整備が進むことで、獣害被害の減少をもたらす、農業の活性化が図られる。地域で観光農業等が盛んになり市民の憩いの地となる。</p> <p>4. 吉沢八景も含めて地域が総合的に整備されることにより、平塚市だけでなく湘南地区・神奈川県の新観光名所として知名度が上がる。</p>
<p>⑤ 協力団体等</p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<p>東京農業大学 東海大学 平塚市役所まちづくり政策部まちづくり政策課 一般社団法人平塚市観光協会 日本土地建物株式会社</p>

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	金額	具体的な内容（積算根拠等）		
① 収入				
補助金	500,000円	平塚市市民活動推進補助金		
当協議会積立金	130,000円	会計残高（前年度繰越金）より拠出		
支援金	85,000円	活動の賛同者からの支援金（寄付又は一部費用の負担、資材等の寄贈）		
	円			
	円			
収入合計	715,000円	発展コース：対象経費715,000円×70.0%＝500,500円 補助金の申請限度額500,000円		
② 支出				
項目	事業費	うち対象経費	うち補助金	具体的な内容（積算根拠等）
獣害対策用ネット購入費	102,000円	102,000円	102,000円	ネット本体 [幅60m、1巻] + 支柱 [50本] + 支柱キャップ [50個] + ネット固定ピン [50個] + 転倒防止用木杭 [30本] + 注意喚起等看板用板材 [5枚] : 102,000円
獣害対策用門扉購入費	114,000円	114,000円	114,000円	門扉本体 [幅1.0m×高さ1.2m、片開き] × 2基 + 送料 : 114,000円
水道整備用資材購入費	232,000円	232,000円	102,000円	木道用板材 [長さ1.5m、60枚] + 板材固定用杭 [120本] + 板材固定用しゅろ縄 [5巻] + 保護塗料 [5個] + 塗料塗布用はけ [20本] : 232,000円
土留め購入費	145,000円	145,000円	60,000円	擬木土留め [長さ約0.4m×高さ0.3m、70個] : 145,000円
管理用備品購入費	53,000円	53,000円	53,000円	ハンマー [6本] + スロップ [10本] + コンピマツト(泥落とし) [3枚] : 53,000円 (年3回のワークショップにおけるトンボ池の管理活動で使用することを想定し、購入。)
備品保管用ベンチストッカー購入費	69,000円	69,000円	69,000円	ベンチストッカー [長さ約1.4m×高さ約0.5m、3基] : 69,000円
支出合計	715,000円	715,000円	500,000円	※備品や器具を購入する場合は、それが事業に必要な理由を記載してください。また、飲食代など助成の対象とならない経費を支出する場合は、「参加費から支出」など収入項目を記載してください。

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。
 ※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

● 平塚市市民活動推進補助金審査会

平塚市市民活動推進補助金審査会は、市民活動や地域活動に関し、専門的知識又は学識経験を有する者から構成されています。補助金の交付の対象・補助額の審査選考を行います。

委員	藤巻 裕之	東海大学 政治経済学部 政治学科 准教授
委員	東樹 康雅	認定 NPO 法人藤沢市民活動推進機構 藤沢市市民活動推進センター センター長
委員	藤井 京子	一般社団法人 ソーシャルコーディネートかながわ 理事 准認定ファンドレイザー
委員	寺山 泰郎	平塚の在宅ケアを考える会
委員	佐藤 由美子	ほん和かママ 代表
委員	横田 裕	フェニックスサービス(株) 代表取締役
委員	加藤 茂	平塚市自治会連絡協議会 幹事 豊田地区自治会連絡協議会 会長

● 平塚市協働のまちづくり基金への寄附を募集しています！

当補助金は、平塚市協働のまちづくり基金を財源としています。平塚市協働のまちづくり基金は皆様からの寄附により支えられています。みなさまの温かい御寄附をお願いいたします。

◆ 寄附の方法

銀行振り込み、直接持込み等さまざまな方法があります。協働推進課に御連絡ください。また、ひらつか市民活動センター窓口では古本と寄附金が引換えになる「たすけ愛古本市」も開催中です。

◆ 税金の控除

ふるさと納税の制度を使って、平塚市へ寄附をしていただくと、多い方で寄附金の9割以上の金額の税金が控除となります。(詳しくはお問い合わせください。)

◆ いままでに協力いただいている寄附の紹介

市川商事株式会社様・一般社団法人日本リンパ協会様・ひらつか自治体財政研究会様・ひらつか市民活動連絡協議会様・湘南リンパ四季の会様・株式会社 一平不動産様・スーパーD´ステーション平塚駅前店様・市民病院売店組合様・ひらつか市民活動センターまつり実行委員会様・熊沢博樹様・千葉英司様・NPO法人うらら様・NPO法人湘南NPOサポートセンター様・積水ハウス株式会社湘南支店様・ふくろうの会様・社団法人平塚青年会議所様・神奈川県立平塚江南高等学校生徒会様・ペットキャップリサイクル湘南様・グランドホール金目店様など

◇ たすけ愛自動販売機（社会貢献型自動販売機）◇

飲み物を買くと、その売り上げの一部が寄附となる自動販売機です。設置してくださる方を募集中！

設置協力企業の紹介：市川商事株式会社 様／横浜銀行平塚支店 様／浜岳産業株式会社 様／

平塚市民病院売店組合 様／湘南倉庫運送株式会社 平塚営業所 様／